

バイブルスタディ Pastor JD Farag

2019. 01. 06

ピリピ人への手紙 2:17-30 「なぜ自分は喜びが持てないのか」

今日の聖書箇所はピリピ 2 章 17-30 節です。

使徒パウロが聖霊によってピリピの教会に書いています。

今日の御言葉は大変興味深いところです。

ピリピ 2:17-30

17 たとえ私が、あなたがたの信仰の礼拝といういけにえに添えられる、注ぎのささげ物となっても、私は喜びます。あなたがたすべてとともに喜びます。

18 同じように、あなたがたも喜んでください。私とともに喜んでください。

19 私は早くテモテをあなたがたのところに送りたいと、主イエスにあって望んでいます。

あなたがたのことを知って、励ましを受けるためです。

20 テモテのように私と同じ心になって、真実にあなたがたのことを心配している者は、だれもいません。

21 みな自分自身のことを求めている、イエス・キリストのことを求めています。

22 しかし、テモテが適任であることは、あなたがたが知っています。

子が父に仕えるように、テモテは私とともに福音のために奉仕してきました。

23 ですから、私のことがどうなるのか分かり次第、すぐに彼を送りたいと望んでいます。

24 また、私自身も近いうちに行けると、主において確信しています。

25 私は、私の兄弟、同労者、戦友であり、あなたがたの使者で、私の必要に仕えてくれたエパフロディトを、あなたがたのところに送り返す必要があると考えました。

26 彼はあなたがたみなを慕っており、自分が病気になったことがあなたがたに伝わったことを、気にしているからです。

27 本当に、彼は死ぬほどの病気にかかりました。

しかし、神は (But GOD; 私はこの言葉が大好きです) 彼をあわれんでくださいました。

彼だけでなく、私もあわれんでくださり、悲しみに悲しみが重ならないようにしてくださいました。

神は、彼の死は、私にとって耐え難いことだと知っておられたのです。

(これは聖書本文にはありません。JDV 訳 “JD 牧師訳” です。皆さんの聖書にはこれはありません。)

28 そこで、私は大急ぎで彼を送ります。あなたがたが彼に再び会って喜び、私も心配が少なくなるためです。

私も心配が少なくなるため；御言葉の、パウロの、こういうところが本当に大好きです。

実に正直だから。「パウロは不安と闘っていたのか」というとその通り。それがこの箇所です。

29 ですから大きな喜びをもって、主において彼を迎えてください。また、彼のような人たちを尊敬しなさい。

30 彼はキリストの働きのために、死ぬばかりになりました。

あなたがたが私に仕えることができなかつた分を果たすため、いのちの危険を冒したのです。

彼らは仕えなかつたのではなく、単に仕えることができる立場になかつたということです。

一緒に祈りましょう。

愛する天のお父様、ここで共に学ぶ御言葉を心から感謝します。

主よ、聖霊によって、私たちが集中できるように、集中力が継続できるようにと切に願います。

それは、あなただけができることです。

そうでなければ、この時にあなたが用意して下さったことを見逃してしまいますから。

あなたのこの教会で、誰ひとりとして、そうならないようにお願いします。

私たちはあなたが聖霊の小さな声で、私たちのいのちに語って下さることを聞きたいのです。

そのためにここにいます。主よ、どうかお語り下さい。

イエスの御名によって。アーメン。

今日お話ししたいことは、主が最近ずっと語って下さっていることで、喜びに関してです。

もっと明確に言うと、「なぜクリスチャンの人生に、主の喜びがないのか。」

この箇所で私が分かったのは、パウロが明らかにしている 3 つの秘訣です。

皆さんはもっと見つけるかもしれませんが。

私たちはクリスチャンとして、喜びの人生を送ることができるのです。

喜びに溢れた人生を全うする。満たされた人生。

言わせてもらえば、これはあなたの行いとは関係ありません。

なぜなら、この世は完全にハイジャックされているから。

アラブ人の私がハイジャックという言葉を使うことを許してほしいのですが、他に適当な言葉が見つからなくて。

この言葉がしっくりきます。

私はパウロがこの箇所で、“喜び溢れるクリスチャン生活を全うする秘訣”を書いていると思います。

だけど、この世はそれとは正反対です。

この世の成功の定義は、「手に入るものは全部つかみ取り、つかんだものは離さない」

とされているのを聞いたことがあるでしょう。

世はハイジャックされただけでなく、成功という言葉も完全に損ない、破壊し、台無しにして、定義さえも変えてしまいました。

神が定義された成功については、マタイ 10 章にあります。

私はこれを、クリスチャン信仰の逆説と呼んでいます。

マタイ 10:38-39

38 自分の十字架を負って（自分に死ぬこと。これが十字架の意味です。）わたしに従って来ない者は、わたしにふさわしい者ではありません。

39 自分のいのちを得る者はそれを失い、わたしのために自分のいのちを失う者は、それを得るのです。

逆説。

上り坂は下り坂。生きたいなら死になさい。見つけたいなら失いなさい。

世が差し出すもの全てに対抗しています。

これが“成功の人生”の定義です。

人は、たとえ全世界を手に入れても、自分のいのちを失ったら、何の益があるでしょうか。（マルコ 8:36）

この逆説的真理が、これから見ていくパウロの言葉の全てを要約しています。

彼自身がイエス・キリストのために命を失いました。

そうすることで、その秘訣を見つけたのです。

これが私たちの模範です。

秘訣。キリストにある人生の秘訣。

私はこの言葉を使いますし、事実、これを世から取り戻します。

第 1 のポイント

ピリピ 2:17-18

17 たとえ私が、あなたがたの信仰の礼拝といういけにえに添えられる、注ぎのささげ物となっても、私は喜びます。あなたがたすべてとともに喜びます。

18 同じように、あなたがたも喜んでください。私とともに喜んでください。

“献身的に働く”

これが、喜びのないクリスチャンの人生に喜びを戻す方法です。

「最も幸せな人は誰か」と私に尋ねるなら…別の言葉…あの…

きっと今は、何が幸せで、何が喜びであるかを区別する良い機会なのでしょう。

特に今、年の初めには、互いに「Happy New Year！」（新年おめでとうございます。）と挨拶をする習慣がありますから。

私は皆さんの喜びに水を差すつもりはありません。

だけどこれは、実際には皆さんが相手に対して、「もし____なら、あなたの新年は幸せでしょう。」と言っているようなものです。

「____するなら、あなたの新しい年は幸せよね。」「あなたの新年は幸せでしょう。でも…」
新しい年に見つける幸せ（Happy）は、人生が上手くいくだろうということに根拠を置いています。
なぜなら、Happiness（幸せ）という言葉は、Happenstance（偶然の出来事）から来ているから。
だから、物事がとてもうまくいくなら、幸せになれるのです。

それは Joy（喜び）ではありません。

喜びは、人生で事がうまく進んでいることに基づかない。

「私は喜ぶことができる。」以上。ピリオド。

コンマもなく、「でも…」も「もし…」も「しかし…」もない。

そうではなく、「私は喜ぶことができる。」

今、私は「Happy New Year」と言うことを完全に壊してしまったので、皆さんは「Have And Joyful New Year！」（喜び溢れた新年を！）と言わなければなりませんね。

今年何があろうとも、人生で事がうまくいくかどうかにかかわらず、主にあって喜ぶことができるから。

パウロが「いけにえに添えられる、注ぎのささげ物となっても」と言っていることに注目して下さい。

これは、民数記 28:7 の引用です。

それに添える注ぎのささげ物は、子羊一匹につき四分の一ヒンとする。

聖所で、主への注ぎのささげ物として強い酒を注ぎなさい。（民数記 28:7）

パウロは、「主に献げられる動物のいけにえに添えられる、注ぎのささげ物として自分を献げる」と言っているのです。

彼は自分自身を犠牲にして献げました。

また、彼はローマで自分を待ち受けていること、すなわち、自分が処刑されるということも知っていました。

パウロがそのことに関して、全く大丈夫だったと思いますか。

「どういう意味ですか。」

ピリピ 1 章。

差し迫っている死について、彼が語っていることを聞いて下さい。

パウロは、それが時間の問題だと知っていましたが、それについては、問題はありませんでした。

なぜなら、彼は既に自分の命を献げていたから、既に自分の命を失っていたからです。

なので、死はもはや問題ではないのです。

死のトゲは完全に失われたから。

ピリピ 1:20-24

20 私の願いは、どんな場合にも恥じることなく、今もいつものように大胆に語り、生きるにしても死ぬにしても、私の身によってキリストがあがめられることです。

21 私にとって生きることはキリスト、死ぬことは益です。

ピリピ 1:21 は全ての人の思考、心の中に深く刻みつけられるべきです。

決して消えないように。これは真理だから。

これこそ、win-win（双方に利益となる）

Life（生きること）も Death（死ぬこと）もどちらも=Leath。新しい用語です。

今日、皆さんは新しい言葉を学びました。

22 しかし、肉体において生きることが続くなら、私の働きが実を結ぶことになるので、どちらを選んだらよい

か、私には分かりません。

「私には分からない。」とパウロは本当に悩んでいます。

23 私は、その二つのことの間で板ばさみとなっています。

私の願いは、世を去ってキリストとともにいることです。そのほうが、はるかに望ましいのです。

「悪く思わないで下さい。」

24 しかし、この肉体にとどまることが、あなたがたのためにはもっと必要です。

このことを考えてみましょう。

彼は真実を言っています。

「再度言いますが、悪く思わないで。」

しかし、あなた方と一緒にここに留まってキリストのために働くか、もしくは、死んで世を去ってキリストと共にいるかを選ぶなら…気を悪くしないで下さい。でも、考えるまでもありません。

ここを去って、主と共にいる方がずっといいですよ。当然でしょう。

私はあなた方のためにささげ物となって、私の命を注ぎ、仕えてきたのです。」

私は、パウロはピリピ教会を非常に深く愛していたから、彼らのためにたくさんの投資をしたのだと思います。

先日、息子のイライアスと話をし、「自分が祈っている人に対して、怒り続けることはできない」と伝えました。これはイエスが、あなたの敵や、悪意を持ってあなたを利用した相手のために祈るように言われたことです。最初はフォンジー（Happy Days の登場人物）みたいに、「主よ、私は祈ります。祝…祝…」のようになるかもしれません。

若い人には分からないでしょうね。「それ、誰？」みたいに見えていますから。

気にしないで下さい。大昔のことです。

とにかく、口から言葉が出て来ないでしょう。

ただすぐに、彼らの事を祈っていると、突然、その人たちに対する自分の心が変わり始めることに気づきます。

祈っている人に対して、怒り続けることはできないのです。

なぜなら、あなたはその人に投資しているから。

私たちの働きも同じことです。

裂かれたパンと注ぎ出されたぶどう酒の、あの犠牲によって、私たちは献身的な働きをするのです。

第2のポイント

“他の人を心の底から心配する”

この箇所が興味深いのは、そう見せかけたり、ふりをしたりできないからです。

ピリピ 2:19-24

19 私は早くテモテをあなたがたのところに送りたいと、主イエスにあって望んでいます。

あなたがたのことを知って、励ましを受けるためです。

20 テモテのように私と同じ心になって、真実にあなたがたのことを心配している者は、だれもいません。

21 みな自分自身のことを求めている、イエス・キリストのことを求めています。

22 しかし、テモテが適任であることは、あなたがたが知っています。

子が父に仕えるように、テモテは私とともに福音のために奉仕してきました。

23 ですから、私のことがどうなるのか分かり次第、すぐに彼を送りたいと望んでいます。

24 また、私自身も近いうちに行けると、主にあって確信しています。

パウロが言っていることで衝撃を受けたのは、19 節の「テモテを送る」ということです。

テモテはパウロの右腕で、言わば自分の子分なのだから、当然、彼にとっては犠牲であり、「テモテをあなた方のところに送る」と言っていることは本当に興味深いのです。

重要なのは「テモテのような人はいない。他に誰もいない。」ということで、全くものすごく大きな犠牲です。

テモテはある意味特別で、他のだれとも違い、親身になって他の人を思いやることができる人、自分自身のことではなく、他の人の幸福や、その人に対して心から心配することができる人でした。

これもまた本当に驚いたのが 22 節。

22 しかし、テモテが適任であることは、あなたがたが知っています。

子が父に仕えるように、テモテは私とともに福音のために奉仕してきました。

“背中を見て育つ”という言葉がありますが、テモテは長年パウロと一緒にいて多くのことを学びました。

彼はパウロが自分を犠牲にして、他の人を心から心配するのを実際に見て来たと思います。

息子が父親と一緒にいるように、テモテはパウロの近くにいたのです。絶対確実に。

この節はそれを言うており、テモテを際立たせています。

私は Outstanding（顕著な、際立つ）という言葉が好きです。

「あなたは他を超越している。」「あなたは他の皆のようではない。」「あなたは他のだれとも違う。」

「あなたは本当に気にかけている。」

「あなたがどんなに気にかけているかを知るまでは、誰もあなたにどれほど知識があろうと気にしない。」

(People don't care how much you know until they know how much you care.)

これを、教師で考えてみます。

私たちが出会った教師について思い返せば、あなたの人生に最大の影響を与えたのは、最も気にかけてくれた教師ではありませんか。

あなたのことを、あなたがどうしているかを、心底心配してくれたでしょう。

このことについて、今朝教会に来る道中、考えていました。

私は教会に来る道中、たくさんのことを考えています。

今朝は、「主よ、メッセージする前に携挙が起こるならサイコーです！」と言いました。

それはともかくとして、適切な言葉が見つからないのですが、私たちがいかに薄っぺらで表面的かを考えていたのです。

「やあ。調子はどう？」と言うと、「私がどんな調子か、本当に知りたい？」

もし本当に関係を断ちたいなら、次回、調子はどうか聞かれたら、「聞いてくれてありがとう。1時間くらい時間ある？」とか、「ねえ、いつかランチしようよ。」など言ってみて下さい。

それが、私が思ったことです。

皆さん、本当にその人の調子を知りたいのですか。

それとも、ただ社交辞令の挨拶ですか。

先週かその前か忘れましたが、詩篇の学びの時だから木曜日の夜。

以前は「調子はいかが？」と聞かれると、大抵「最高！」と言ってきました。

だけど何となく、主が「本当に？ 最高？」「あなたではなく、わたしが最高なのだ。」と言っている気がして。

では、「いいよ！」はどうですか。

誰も良いわけがない。私たちはみな罪人で、神の栄光に遠く及ばない。

「先生、ちょっと律法主義になり過ぎているのでは。」

いいえ、違います。ちょっとご辛抱を。

私は「調子はいかが？」と聞かれたら、「祝福されています。」と言うことに決めました。

今までそういうのを聞いたことはないだろうし、もし聞いたことがあったとしても、祝福されていると返事されるなんて滅多にないはずですから、彼らの反応を見たいのです。

興味深いですよ。なぜならこれは、場合によってはある意味、自己反省を誘導しますから。

「ああ…私もですよ。多分…」というように。

最近、コストコに行きました。

店員は、何も盗んでいないか確認するためにレシートをチェックしますね。

彼らはそうは言わず、2度計上したものはないか、問題はないかを確認していると言います。

「ああ、そうですか。構いません。そうおっしゃるなら、こじつけですけどね、いいでしょう。」

とにかく私は色々買って、出口で係りにレシートを見せました。

その時、私が「調子はどう？」と聞いたら、「夢がかなっているよ！」って。すごい！

「あなたはどうか？」「ええ。私は祝福されていますが…あなたは夢を実現させているの!？」

とてもステキですね。

「ねえ、調子はどう？」(どうでもいい感じで)「元気。いいよ。君は?」「元気だよ。どうしてる?」

眠気を催すかも…

「元気。いいよ。君は?」の後、こんな風に続けてみませんか。「本当はどうなんだい?」

今朝、祈禱会の前に“触れ合いのパワー”について話し合いました。

レストランでサーバー(ウェイター、ウェイトレス)によって、実際に証明されたことです。

サーバーが食事を持って来た時、味はどうか、注文したものが全部出されたか、他にはないかなどと言いますね。

その時、客の肩に手を置くとチップが弾むことが分かったそうです。

ちょっと言い過ぎですよ。

「それって、心を込めてやっているの? もっとチップが欲しいだけじゃない!？」

しかし、それには生理的理由があって、神が人をそのようにお造りになったのです。

赤ちゃんに関するのですが、1900年代初めの実話です。

孤児院で赤ちゃんたちが不可解に死んでいくのですが、その理由は説明不可能でした。

最終的に分かったことは、文字通り、孤児たちが死んでいたということ。

孤児院の赤ちゃんは、人に触れられることがなかったのです。

そこで、施設の人たちは赤ちゃんを抱っこし、抱きしめ、愛し始めました。

すると赤ちゃんは生き延びただけでなく、元気になったのです。

私たちの娘ノエルが死ぬ前の状況をシェアします。

私たちが四六時中抱いていなかったら、彼女はあんなに長く生きていなかったらと言われました。

母乳に関してですが、神が母乳に与えた成分を人工ミルクで複製することはできないことが分かっています。

私たちは哺乳瓶やチューブを使わざるを得なかったけど、ノエルに母乳を与えたからあんなに長く生きられたのです。

そのわけは、これが私たちをお造りになった神の御業だから。

たとえば悪いかもしれませんが、これが私たちを設計し、創造された神の御業。

どうしたら元気に育つか、それは心から、心底、気に懸けることです。

中東の人たちは大変情熱的な民族です。

これは私の話ですよ。固執していますが。

中東では今も、挨拶する時にハグし、抱きしめ、両頬にキスします。

これが「私は本当にあなたを思っています」「私はあなたの益を本気で思っている」という表現方法なのです。

再度言います。ピリピ書の学びを終える前にもまた言うでしょうけど。

私が知っている最高に幸せで、喜びに満ち溢れている人は、他の人を心から愛し、彼らがどう過ごしているかを心配している人です。

そして、彼らが幸せで、喜びに満ち溢れているのはこのためなのです。

あなたが話しかけた人が、自分が直面している問題を話したら、あなたは物事を広い視野で見ることになります。

私の場合、おかしい描写を許してほしいのですが、さかむけができた時、「神様、爪切りが要ります。」

誰かが私に「最近、癌だと診断された」と言ったなら、私は大局的に見るでしょう。

あなたならどう対応しますか。

その人を本当に心配して祈ったり、電話したり、「調子はどう?」「どうしてる?」としばしば尋ねるでしょう。

このようなことは、誰かの人生を大きく変えることができるのです。

私はこの教会の祈りのリストや、全世界から届く祈りのリクエストについて思います。

その人たちが対処していることのいくつかは、言葉にならないほど。

ただ、私たちが彼らのために祈り、彼らの代わりに御座に懇願しているという事実、そして彼らを心から心配して、神から良い応答があることを信じます。

それは、今私たちは彼らに、彼らの健康に、彼らの幸福に投資をしているからです。

ではこれが最後ですが、重要なことなので、少し時間を取りたいと思います。

第3のポイント

“キリストのためにリスクを負う”

ピリピ 2:25-30

25 私は、私の兄弟、同労者、戦友であり、あなたがたの使者で、私の必要に仕えてくれたエパフロディトを、あなたがたのところに送り返す必要があると考えました。

26 彼はあなたがたみなを慕っており、自分が病気になったことがあなたがたに伝わったことを、気にしているからです。

27 本当に、彼は死ぬほどの病気にかかりました。

しかし、神は彼をあわれんでくださいました。

彼だけでなく、私もあわれんでくださり、悲しみに悲しみが重ならないようにしてくださいました。

28 そこで、私は大急ぎで彼を送ります。あなたがたが彼に再び会って喜び、私も心配が少なくなるためです。

29 ですから大きな喜びをもって、主にあつて彼を迎えてください。

また、彼のような人たちを尊敬しなさい。

30 彼はキリストの働きのために、死ぬばかりになりました。

あなたがたが私に仕えることができなかつた分を果たすため、いのちの危険を冒したのです。

パウロはテモテを送ると言った後に、戦友エパフロディトを送り返すとも言っています。

パウロは興味深い人物です。天国で会うのが待ち切れません。

エパフロディトを送り返す理由が大変面白いのです。

繰り返しますが、彼を送り返すことは、パウロにとっては無私無欲の犠牲でした。

エパフロディトはテモテと共に、パウロにとっては最高の祝福で、必要な人材だったから。

それが今、私欲を捨てて、「あなたはピリピへ帰りなさい。」

「あなたがホームシックなのは分かっている。あなたが病気だったと聞いて、ピリピの人たちがとても心配しているのも知っている。」

これは、メールや電話などのソーシャルメディアがない時代のことですから、その人が元気かどうかは手紙を送るか、誰かを派遣して知らせるしかなかったのです。

だから「あなたはピリピに帰って欲しい。」「あなたを行かせなければならない。」

「私は本当にあなたが必要で、愛しているけれど、彼らがあなたのことをとても心配しているから。」

そして、あなたがホームシックのために、あちらに戻りたいと思っているのも分かっているから。」

パウロが、エパフロディトが病気であるだけでなく、死にそうだったと聞いて危惧しているピリピの人たちを心配しているのがよく分かります。

どうして、エパフロディトは死にそうだったのか。

彼はキリストの働きを命懸けでやっていたからです。

皆さんが混乱しないことを願いますが、私は、最も喜び溢れるクリスチャンとは、信仰によって、自らリスクを冒すクリスチャンであると主張します。

約 14 年前の 2003 年、私は信仰によって踏み出しました。

本土で牧会していた教会を去り、この教会を始めるためにここに来て、今年は 15 周年になります。

息子たちがまだ 3 歳と 5 歳の頃で、私たちは全てを捨ててここに来て、実質何も持っていませんでした。

ただ、リスクを負ったのです。

神が信仰を喜ばれるのは知っています。

でも私は、神のために信仰のリスクを負う時、神はこの上なく喜ばれるのだと思います。

それで、最初の 2 年間は悲惨で、これが私の人生で最大のミスではないにしても、確かにその一つを犯したと思いました。

今、当時を振り返ると、あのリスクを負っていなかったら、自分の人生がどうなっていたかなど想像すらできません。

この素晴らしい教会を見渡して皆さんを見ていることは、牧師としての特権ですが…皆さんは全員最高ですよ！

私がああのリスクを負っていなかったら、神は別の人を呼んでいたでしょう。

私の代わりに、ここに別の人が立っていたらどうかなんて、想像もできませんが、モルデカイがエステルに言ったように、「あなたがこれをせず、命を懸けないなら、助けと救いが別の所から起こるだろう。」(エステル記 4:14)

神様は、このお方だけができる優しい方法で私たちを導く良い羊飼いです。

神様は私たちに厳しいお方ではなく、辛抱強く、忍耐深く、優しいお方です。

しかし神はあなたに、安心のふりをするのを止めるように迫っておられるのかもしれませんが。

神は、あなたを何かに召されたのかもしれませんが。

それには、あなたが神を信頼し、信仰によって踏み出すことが求められます。

これまで想像したこともないような、壮大で素晴らしいことをなされるのだと、ただ神を信じるのです。

何人かは私を見て、「先生、言うのは簡単ですよ。」と思っていますね。

「私はただの整備工だし…」「私はこんなだし…、あんなだし…」

「私は仕事で籠りっぱなし。どうしようもない。」

もしかしたら、あなたがリスクを負うのは、神があなたの人生に置かれた同僚に対してなのかもしれません。

その人たちの友となり、彼らのために、いくらか時間を投資したりする。

ランチに行っておごるとか。

その時、サーバーにチップを忘れないで。あなたの肩に手を置いたなら特別に。

神は小さい事でも大きな事でも、信仰によって踏み出さずには味わえない杯を味わってほしいのです。

「リスクを負う者になりなさい。」

こんな風に言うのを許して下さい。「危険と隣り合わせの生き方をしなさい！」

聞いて下さい。

皆さんは生きるのに必死だと思いますが、でも約束します。

あなたの人生で今までにないほどの楽しい時になりますよ。

この問いで締めくくります。

私たちは全員、よく考えて、主の御前で答える方が賢明です。

「喜びのない人生が不必要な困難と争いに満ちているのは、私が主のためではなく、自分のために生きているからではないか。」

先週言いましたが、“自分自身を見ると落ち込み、他人を見るとストレスが溜まる。しかし、主を見るなら祝福される。”

馬鹿げているようですが、真理ですよ。

自分自身のために生きているなら、落ち込むのも当然のことで事実です。

真の喜びを長い間経験していないのも当然ですよ。

ところで、ネヘミヤは言いました。

主を喜び祝うことこそ、あなたたちの力の源である。(ネヘミヤ記 8:10 新共同訳)

あなたは自分自身を見るだけでなく、他の人や他のことを見ているのではないですか。

私にとって生きることはキリスト、死ぬことは益です。(ピリピ 1:21)

あなたは「私にとって生きることは_____だ。」と言っているのかもしれませんが。

自分で空欄を埋めて下さい。

もしくは、聖霊にしてもらって下さい。自分のために。

何のために生きているのか。

自分の人生をピリピ人への手紙 1 章 21 節に当てはめて、どう読みますか。

あなたにとって、生きることは何ですか。キリストですか。

どうか理解して下さい。私は自分のことを言っているのです。

「主よ、私の心を探して下さい。」

私は何のために生きているのか。

私にとって、生きることはキリストなのか。本当に？

何が私の人生を変えるのか。

私自身にも問うていることを分かって下さい。

主が私の証人であり、私の心をご存知です。

人々に対して心底心配し、献身的に仕えたか。

イエス・キリストの働きのために、信仰によるリスクを負っているか。

これは主からだと思いますが、この教会で最も喜んでいるクリスチャンは、自分を献げて、チルドレンミニストリーに奉仕している人たちだと思います。

そのことだけを言っているのではありません。

私たちは、神がチルドレンミニストリーでなさっている、素晴らしいことをシェアしようと計画していたのですが、2019 年になって、第 2 礼拝でそのミニストリーができることになりました。

この素晴らしい教会にいる、最高に幸せな人は、奉仕している人たちです。

あるチームの存在を知っていますか。

毎週来会して、皆さんが帰った後、掃除をして下さる。

そんな風に言ったことに気を悪くしないで下さい。

その人たちは自分の意志で来会し、そして無給です。

というより、彼らの報酬はこの世の外にあって、それが喜びというものなのです。

一度お礼を言おうとしたのを覚えているのですが、私を見て、「何のことですか？ 私たちに感謝？」

「私たちの方が感謝すべきですよ。これをさせて下さっているんだから。」

そんなの、聞いたことがありません。

この教会で最も幸せなのは、他の人を本当に心配し、犠牲を払って奉仕し、自ら選んでリスクを負っている人たちです。

祈りましょう。

主イエス様、私は、あなたの人々を励ますための御言葉を教えることができるようにと心を静めて祈りました。

ただ聖霊様が、私が語ったことを、そのまま次のレベルに導いて下さると信じます。

私を含めて私たちの心に、そのプロセスを始めて下さい。

主よ、ここにいる全員が切に聞きたいのは、「良くやった。良い忠実なしもべだ。」というあなたの言葉です。

イエスの御名によってお祈りします。

アーメン。



「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4:7

メッセージ by JD Farag 牧師

カルバリーチャペルカネオヘ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 Rumi